TOA DKK

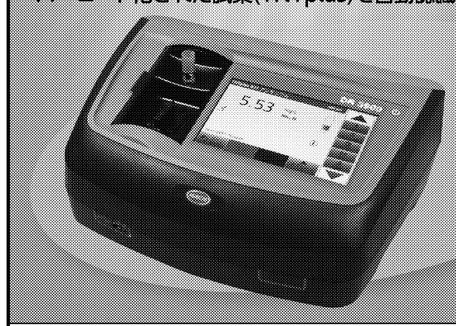
東亜ディーケーケー小間 8ホール 8B-304/401でお待ちしております。
新技術説明会で発表いたします。
9月6日(金) 11:10～11:35
テーマ:HACH製吸光光度計(DR)による海水中微量成分測定アプリケーション

HACH Be Right™
東亜ディーケーケーは、米国HACH(ハック)の日本総代理店です。

無機イオン、重金属類、有機物測定の検量線をインストール済み

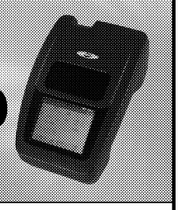
HACH吸光光度計 DRシリーズ　簡単・迅速測定

吸光光度計 **DR 3900**
全窒素　全りん　COD
硝酸　亜硝酸　アンモニア　りん酸　残留塩素　濁度　色度　硬度
コンパクトな機器に多彩な機能を搭載した可視吸光光度計
波長スキャン測定
タイムスキャン測定
バーコード化された試薬(TNTplus)を自動認識



吸光光度計
DR 6000
紫外／可視測定可能

ポータブル吸光光度計
DR 2700/2800
バッテリ駆動可能

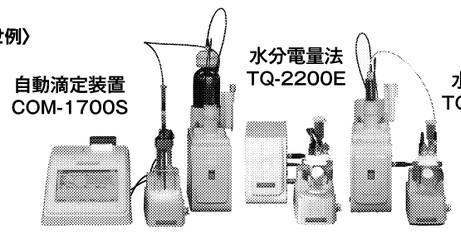


東亜ディーケーケー株式会社　ホームページ http://www.toadkk.co.jp/
ISO9001・ISO14001 認証取得
本　社／〒169-8648 東京都新宿区高田馬場 1-29-10 TEL.03(3202)0218
●東　京：03(3202)0221 ●大　阪：06(6312)5100 ●札　幌：011(726)9859 ●仙　台：022(723)5734 ●筑　波：029(857)4091
●千　葉：0436(23)7531 ●神奈川：045(222)1361 ●静　岡：054(236)0106 ●名古屋：052(324)6335 ●岡　山：086(423)5181
●広　島：082(297)7370 ●山　口：0834(27)2707 ●四　国：087(831)3450 ●九　州：093(551)2727 ●長　崎：095(865)0921

新開発! 滴定も水分も! 同時に測定!

ユニット増設で滴定+水分測定(電量/容量)ができます。

〈組合せ例〉



最先端を、最前線へ。
株式会社日立ハイテクノロジーズ
［科学・医用システム事業統括本部］
〒105-8717 東京都港区西新橋1-24-14
TEL(03)3504-7211
http://www.hitachi-hitec.com/science/

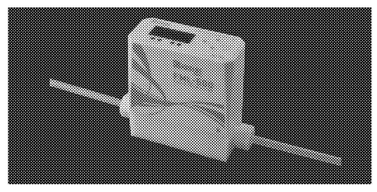
HIRANUMA
JASIS 2013
<出展品目>
自動滴定装置　水分測定装置
水銀測定装置　TOC測定装置
新技術説明会
9/6(金) 11:10～11:35
ホテルニューオータニ幕張　N-2会場
「必見! 今更人に聞けない カールフィッシャー水分測定の基礎とコツ」

平沼産業株式会社
［本社・工場］
〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1739
TEL(029)247-6411 FAX(029)247-6942
http://www.hiranuma.com

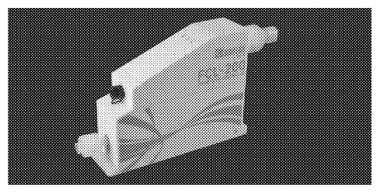
KOFLOC Kyoto　流体計測・制御技術のコフロック

check! 高性能デジタルMFC登場!
GFC-200シリーズ
New
全制御範囲1s応答
マルチガス・マルチレンジ切替
R.D.1%精度
RS485対応

液体用ストレート型超音波流量計 FML−500



液体用流量コントローラー FCL−200



JASIS 2013 7A-805
コフロック株式会社
東京メインオフィス　〒103-0013 中央区日本橋人形町 3-3-6 人形町ファーストビル 1F
Tel:03-3664-0200　Fax:03-3664-0210
http://www.kofloc.co.jp/

JAIMAセミナー　会場:国際会議場 104会議室（1階）、302、303会議室（3階）

9月 4日	9:40 ～ 17:30	これであなたも専門家　不確か編	303会議室
	14:30 ～ 17:30	これであなたも専門家　MS編	302会議室
9月 5日	9:30 ～ 17:30	これであなたも専門家　LC編	302会議室
	10:00 ～ 12:00	初めての機器分析	303会議室
	14:30 ～ 17:30	これであなたも専門家　熱分析編	303会議室
9月 6日	9:30 ～ 12:30	これであなたも専門家　流れ分析編	302会議室
	9:30 ～ 12:30	これであなたも専門家　蛍光X線編	303会議室
	10:00 ～ 12:25	これであなたも専門家　IC編	104会議室
	14:00 ～ 16:00	機器分析のステップアップ	303会議室
	14:30 ～ 17:30	これであなたも専門家　GC編	302会議室

JASIS 2013

充実した企画

JASISコンファレンス

多岐にわたる内容

24団体、48テーマと、新技術説明会と同様に昨年を上回る規模で行われるのが「JASISコンファレンス」。会期は開幕前日の9月3日から6日まで。会場は幕張メッセ国際会議場。「JAIMAシンポジウム」「JAIMAセミナー」「日科協セミナー」などが開催される。放射能測定、食の安全・安心、人の健康に関するマイクロ／ナノ分析技術など多岐にわたる内容が予定され、聞きどころは多い。

5日10時半から104会議室で行われるJAIMAシンポジウムは「分析産業の直面する課題と将来展望」と題したタイトルで、JAIMA技術委員会が2年をかけて実施した各種統計調査、サプライヤーとユーザーへのアンケート、ヒアリング調査などの解析結果が報告される。

また104会議室では6日14時半からJAIMAフォーラム「分析機器と計量標準の新たな整備に向けて―」が行われる。「計量標準に関する新たな整備計画及び利用促進方策について」「標準物質の整備状況と今後の計画」「試薬と標準物質」などを経済産業省や産業技術総合研究所などの担当者が紹介する。

初級者向けセミナー

JAIMAセミナーは分析実務者の中でも初級から中級者を対象としたもの。4日から6日まで、302、303会議室ほかで行われる。テーマは「初めての機器分析」「機器分析のステップアップ」「これであなたも専門家」の三つ。

「これであなたも専門家」では液体クロマトグラフィー（LC）、ガスクロマトグラフィー、イオンクロマトグラフィーなど、さらに九つのテーマに分けて講演が実施される。事前登録が必要。締め切りは30日。

初級者を対象にしたセミナーは日科協も行う。テーマは「太陽電池」「環境関連測定器」など。こちらも事前の参加申し込みが必要だ。

合同展になる以前から好評だったサイエンスセミナーは5日13時からホテルニューオータニ幕張で行われる。会場は麗の間で定員は200人。事前申し込みが優先だが、空席があれば当日も聴講可能。今回は日本医科大学の太田成男教授を講師に迎え、「細胞は若返る　人体の不思議をミトコンドリアが解き明かす」をタイトルに開催される。細胞小器官のミトコンドリアはほとんど全ての生物の細胞に含まれており、生体内のエネルギー代謝をはじめ、多機能を持っている。このセミナーではミトコンドリアの機能を解説し、若返りの秘訣を紹介するというもの。

JAIMA主催のシンポジウム、フォーラム、セミナーなどはいずれも無料。JAIMA主催以外のコンファレンスにおけるセミナーやシンポジウムはプログラムによって異なる。各プログラムの受講料、テキスト代、事前登録の要否に関してはJASIS2013のウェブサイト（www.jasis.jp/2013/）で案内されている。

分析機器・科学機器遺産

今年度認定の実機展示

JASISの今回のキャッチフレーズは前回同様の「未来発見。―Discover the Future」。日本ならではの高度で繊細な技術やモノづくりに対する発想と、分析・科学機器分野でアジア最大級の展示会として、イノベーションを生み出し、将来のビジネスにつながる発見がある場所だということを表現しているという。

分析機器・科学機器メーカーの多くがJASISで新製品や新技術の発表を行う。また、セミナーやシンポジウムでは将来を展望していく。しかし、将来を展望するためには過去も知り、過去の技術を継承していく必要があるのはいうまでもない。

日本分析機器工業会と日本科学機器協会は12年から「分析機器・科学機器遺産」の認定事業を行っている。これは「日本国民の生活・経済・教育・文化に貢献した貴重な分析技術／分析機器や科学機器を、文化的遺産として後世に伝える」ということを目的にスタートしたもの。第1回の12年は20件が認定。今年度分は7月に15件が発表された。

今年度はリガクの「蛍光X線分析装置」、堀場製作所の「工業用ガス分析計 GA−1形」、島津製作所の「島津高速液体クロマトグラフLC−3A型」、平沼産業の「滴加制御式滴定記録装置RAT−1」といったメーカーによるモノに加えて、大阪大学が申請した「田中式顕微鏡」、東北大学が申請した「最初期の表面電子顕微鏡」など、全15件が認定された。

今回、展示8ホールの「イベントスクエア」には今年度の認定を受けた15件のうち、実機12機が特別展示される。認定製品はいずれも当時、世界に誇る最先端の機器、技術であり、「科学のちから」となったモノ。日本の今日のモノづくり技術の発展を牽引するためにカギとなってきた機器ともいえる。こうした歴史的に貴重な製品が一カ所に集まることは多くない。このチャンスを見逃さないでほしいところだ。

第２回の分析機器・科学機器遺産で認定された15件のうちの一つ。日本分光の「ＩＲ―Ｇ型　回折格子赤外分光光度計」

Sensor Gas Chromatograph

センサ ガス クロマトグラフ

簡単・小型・高感度

微量ガスを高感度計測
超高感度の半導体ガスセンサを検出器に使用し
ppbレベルからの超高感度計測を実現しました

簡単操作・短時間計測
ガス注入操作のみで自動的に測定を開始し
短時間（4分 または 8分）で測定を完了します

キャリアガスボンベ不要
自然大気をキャリアガスとして使用し
高圧ボンベが不要です

小型・軽量・ポータブル
オリジナルの小型カラム等独自の小型（B4サイズ）
軽量化（約5.5kg）を実現しました
持ち運びも便利で設置場所を選びません

連続測定（測定ガス自動注入機能）※オプション機能
測定時間 または 測定回数を設定することで
自動連続測定が出来ます

ガス種別に現在5機種をラインナップ

驚く程に高感度

パソコンは製品に含みません

型式	ODSA-P2	ODNA-P2	SGHA-P2	SGEA-P2	SGVA-P2
測定対象ガス	硫化水素 メチルメルカプタン 硫化ジメチル	アンモニア トリメチルアミン	水素 一酸化炭素 メタン	アセトン エタノール アセトアルデヒド イソプレン	トルエン エチルベンゼン キシレン スチレン

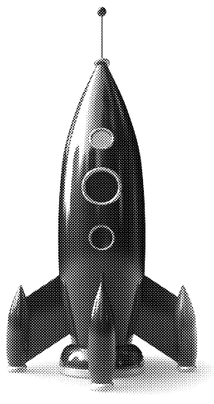
JASIS 2013出展
ブース番号：5A-701

エフアイエス 株式会社
http://www.fisinc.co.jp/
〒664-0891　兵庫県 伊丹市 北園 3-36-3
TEL: 072-780-1800 ／ FAX: 072-785-0073
第22回 中小企業優秀技術新製品賞 奨励賞 受賞

HORIBA
Explore the future

未来へつなぐ分析技術

おかげさまで、株式会社 堀場製作所は今年創立60周年を迎えることができました。60年分の感謝を込めて、「未来へつなぐ分析技術」をテーマに、先端素材をはじめとするさまざまな分野に対し、グループ 総力を挙げてお客様に役立つソリューションを一堂に展示いたします。皆様のご来場お待ちしております。



JASIS 2013
Japan Analytical & Scientific Instruments Show
展示会場で、お会いしましょう。

■ エネルギー
蓄電(リチウムイオン電池)、発電(太陽電池)、節電(LED、OLED)
省エネデバイス(超伝導)、スマートエネルギーなど

■ 安心・安全・環境
食品、薬品、農作物、地球環境

■ バイオ・ライフサイエンス
分子、蛋白質、DNA、DDS(Drug Delivery System)、医療

■ 先端素材・機能性材料
ナノ計測(粒子、薄膜、サイズ)

■ 自動車産業
排ガス規制対応、素材研究、品質管理

2013年、HORIBA創立60周年 One Past, One future, One HORIBA

ラマン分光　蛍光分光・蛍光寿命　薄膜評価　分光ユニット　電子顕微鏡関連　元素分析　薄膜分析　粒子計測　水質分析　自動車　環境　医療　流体計測制御　サービス

2013.9/4(水)→9/6(金)
幕張メッセ国際展示場5ホール
10:00→17:00 Booth No.5B-101/201
ご来場の方にはもれなくオリジナルグッズを進呈します。
HORIBAグループブースへ是非お立寄ください。

株式会社 堀場製作所　〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地　TEL(075)313-8121
株式会社 堀場エステック　株式会社 堀場アドバンスドテクノ　株式会社 堀場テクノサービス
http://www.horiba.com/jp/scientific/

Explore the future　Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific　HORIBA